



と2011年新築の自宅に設け、広さは約15畳、天井高は約4.1m。完全防音設計で高音質が楽しめる、客席は20×30程度、2階席まであり。階段手すりには、お気に入りの「夜想曲第2番」の楽譜を特注で飾り付けたほどの凝りようだ。

人集う場に
新築自宅へ
サロン開設。



「ピアノサロンブルニエ」の階段手すりには「夜想曲第2番」の有名な旋律が飾り付けられている。や梅酒も好きだから」とほほ笑む。



ピティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会(グランミュージック部門)では左手だけで演奏し、入選を果たした=2012年8月、東京

室内に足を踏み入れると、ショパンの調べが響いてきた。「夜想曲第2番」グランドピアノから流れる、ゆったりと優雅な音色に思わず聞き入った。奏者は内藤みゆきさん(45)岡山市中区原尾島。熱の入れようは、ピアノサロン「ブルニエ」と名付けたこの部屋に見て取れる。

ブルニエは、フランス語で梅の意。母校・津田塾大学の創設者津田梅子や、在学中に所属した女声合唱団の名にちなんだ。「それに梅流」で、水谷豊さん演じる

青年がショパンの「英雄ポロネーズ」を奏でている姿に感動。「いつかこの曲を弾いてみたい」とひそかに燃えた。しかし、中学時代から将

病付き合い
もう一度、
あの曲弾く。

左手で感謝を奏でる



愛用のグランドピアノを弾く内藤さん。両手演奏も少しずつ可能になった

来は英語を生かした仕事を「と考へ、大学受験直前まで「趣味程度」に習い続けた後は、次第に鍵盤から遠ざかった。

現在、約4年前に立ち上げたピアノサークル「ブルニエ岡山」の活動にもいそむ。「音楽が変わったと言われます。以前は自分のために演奏していた。今は支えてくれた人たちへの感謝の思いを、自分の音で素直に表現できるようにな

まだやれる
全国大会で
入選果たす。

再開したのは2006年。結婚・出産を経て、子どもにもピアノを習わせているうち、高校時代に指導を受けた柳井修・香川大教育学

「ハンディとうまく付き合ひながら、あの曲をいつかもう一度、ステータスで弾いてみたい」と言う。それは、自らの人生を変えるきっかけとなった「英雄ポロネーズ」である。(大立真白)

再開したのは2006年。結婚・出産を経て、子どもにもピアノを習わせているうち、高校時代に指導を受けた柳井修・香川大教育学

「右手に「ジストニア」の症状が出始めたのはそのころ。10年から、鍵盤に乗せると指が意思に反して曲が

「ハンディとうまく付き合ひながら、あの曲をいつかもう一度、ステータスで弾いてみたい」と言う。それは、自らの人生を変えるきっかけとなった「英雄ポロネーズ」である。(大立真白)